

国際言語文化研究科 全学向け授業案内

2007年度後期全学向け「外国語特別研修コース」及び 「セミナー」について

国際言語文化研究科全学向け授業は「外国語特別研修コース」及び「セミナー」からなっています。「外国語特別研修コース」はいわゆる演習を主体とした少人数による外国語授業、「セミナー」は外国語の学修を通して言語文化の知識を養い、異文化理解を深めることを目指す授業です。皆さんの積極的な受講を期待しています。

〈学部学生の皆さんへ〉

「全学向け授業」として登録する場合は、本冊子に従って手続をしてください。全学教育科目の「言語文化II」として登録する場合は、教養教育院作成の「履修に関する注意事項」に従って手続をしてください。

I. 授業科目（授業時間割表及び授業要覧は8ページ以降に掲載）

外国語特別研修コース

科 目		開講期間
		後 期
英 語	Level 2 a	—
	Level 2 b	○
	Level 3 a	—
	Level 3 b	○
ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語	Level 1 a	—
	Level 1 b	○
ロ シ ア 語 中 国 語	Level 2 a	—
	Level 2 b	○
ス ペ イ ン 語 朝 鮮・韓 国 語	Level 2 a	—
	Level 2 b	○
ポ ル ト ガ ル 語 イ タ リ ア 語	Level 1 a	—
	Level 1 b	○
ア イ ヌ 語	Level 1	○

セミナー

英 語	科 目		開講期間
			後 期
	言語文化セミナー		○
言語表現セミナー		○	

注) Level 1, 2, 3 は、この順で授業内容が高度になります。

II. 授業期間・休業日・休講日・授業時間帯

1. 授業期間

後期：2007年10月1日(月)～2008年2月1日(金)

2. 休業日

冬季休業期間：2007年12月28日(金)～2008年1月7日(月)

3. 休講日

大学入試センター試験実施準備：2008年1月18日(金) (予定)

4. 定期試験期間

後期：2008年2月4日(金)～2月18日(月)

5. 授業時間帯

第1時限 8:45～10:15

第2時限 10:30～12:00

第3時限 13:00～14:30

第4時限 14:45～16:15

第5時限 16:30～18:00

III. 受講対象者

受講対象者は、本学の学部学生、大学院生、研究生等及び本学職員です。

ただし、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生は受講できません。

IV. 休講等

各授業科目の休講、教室変更、授業に関することは、国際言語文化研究科棟1階掲示板（玄関左側）で通知します。

V. 成績の通知

成績評価の通知は以下のとおり行います。

1. 学部学生、大学院生、研究生等については、各部長あてに通知します。

2. 職員については、本人に通知します。

VI. 受講の辞退

事情により学期途中で受講できなくなった場合には、国際言語文化研究科事務室で交付される所定の「全学向け授業辞退届」を、必ず授業担当教員に提出して下さい。この手続きを行わずに受講放棄すると、以後、受講を認めないことがあります。

VII. 受講申込み手続き

1. 外国語特別研修コース

英語

1. 受講申込カード(黄色の3連カード)配付場所及び申込場所

配付場所 国際言語文化研究科棟1階 玄関付近(5ページ配置図参照)

申込場所 国際言語文化研究科棟1階 事務室(5ページ配置図参照)

2. 申込期間及び時間 期間：2007年9月25日(火)、26日(水)

時間：9:00～12:00、13:00～17:00

* 申込期間以降は受け付けませんので注意してください。

3. 受講申込カード記入・提出について

受講希望者は、「受講申込カード」に必要な事項を記入のうえ、申込期間中に国際言語文化研究科棟1階の事務室に提出して下さい。特に以下の①～③については、注意事項をよく読んで記入して下さい。提出の際には、本人保存用及び教員保存用の紙片を返却しますので、教員保存用の紙片は第1回目の授業時に授業担当教員に渡して下さい。また、本人保存用の紙片に記載してある受講受付番号により受講調整結果を掲示しますので、結果の確認には必ずその紙片を持参して下さい。なお、

受講する授業が決定した後も、本人保存用紙片は保管しておいてください。

①『TOEIC点数（または自己採点）』：

「英語Level 2」及び「英語Level 3」の受講を希望する人は全て、TOEIC公開試験あるいはその模擬問題集によって得た自分の英語力の点数を受講申請の際に記入せねばなりません。TOEIC受験、あるいはその模擬問題集の採点は各自で行ってください。TOEIC以外の試験の点数は不可。 TOEIC模擬問題集として、例えば以下のものが出版されています。

- (1) 『TOEIC公式ガイド&問題集Vol.2』（国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会、2002年）2,940円
- (2) 岩村圭南（著）『TOEIC テストまるごと模試600問－CD 2枚付き』（アルク、2004年）2,310円
- (3) 『TOEIC テスト完全攻略』（旺文社デジタルインスティテュート、2001年）7,140円
- (4) 『TOEIC テストスーパー模試シリーズ470点攻略』、『TOEIC テストスーパー模試シリーズ600点攻略』、『TOEIC テストスーパー模試シリーズ730点攻略』（以上三点、旺文社デジタルインスティテュート、2003年）7,140円

* TOEICスコアの自己採点には、名大生協が実施している年4回（5，7，11，1月）のカレッジTOEICも利用できます。

②『希望する級』：

TOEICあるいはその模擬問題集によって知り得た自分の英語力に応じて、「英語 Level 2」あるいは「英語 Level 3」のどちらかを選択し、申請してください。点数と Level の対応は以下のとおりです。

英語 Level 2 受講者の英語力：TOEIC 650点以上～749点以下

英語 Level 3 受講者の英語力：TOEIC 750点以上

なお、各々の Level の点数（TOEIC）に満たない場合は、受付できません。さらにTOEIC 750点以上の場合は、Level 2 では受付できませんので、Level 3 を申し込んでください。

③『希望するクラス』

②で決まった Level の中から受講したいクラスを3つまで。記入した希望クラスまでで調整できなかった場合、同じレベルの任意のクラスに振り分けられることがあります。

4. 受講調整結果の発表

受講希望者が受講可能人数を超える場合は、提出された「受講申込カード」のデータをもとに受講調整を行い、各授業の受講者を決定します（決定後の問い合わせには応じません）。受講調整の結果は、9月28日（金）9時までに国際言語文化学科研究棟1階掲示板（玄関左側）に掲示します。

定員に限りがあるので、受講希望者が全員受講できるとは限りません。

5. 第1週の授業を無断で欠席した場合は、受講放棄とみなしますので、ご注意ください。この件に関する質問に対して、文系事務部教務・学生グループ（国際言語文化研究科）は対応しません。
6. 決定された授業からの辞退は認められません。
7. 外国語特別研修コースの英語は、級を問わず一期に一クラスしか受講できません。

英語以外の外国語

全学向け授業としては、第2週〔10月9日（火）～15日（月）〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。なお、希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。

1) 受講申込カード配付場所

国際言語文化研究科棟1階玄関付近（5ページの配置図を参照）

2) 配付期間及び配付時間

期 間：2007年10月9日（火）～15日（月）

時 間：平日 9：00～17：00

3) 配付カード

青色 (三連)

4) 受講登録手続

第1回目の授業時(10月9日(火)~15日(月))に受講が許可された授業科目について、「受講申込カード」のうち教員保存用の紙片を授業担当教員に渡し、事務室保存用の紙片を国際言語文化研究科棟1階玄関の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください(締切厳守)。

期 間：2007年10月9日(火)~10月16日(火)

時 間：平日9:00~17:00

2. セミナー

第1週〔10月1日(月)、~5日(金)〕から開講します。

受講手続きは、次のとおりです。希望者が多数の場合は第1回の授業時に受講調整を行います。なお、全学教育科目(学部生授業)として登録する学生が優先されます。

1) 受講申込カード配付場所

国際言語文化研究科棟1階(5ページの配置図を参照)

2) 配付期間及び配付時間

期 間：2007年10月1日(月)~10月5日(金)

時 間：平日9:00~17:00

3) 配付カード

青色 (三連)

4) 受講登録手続

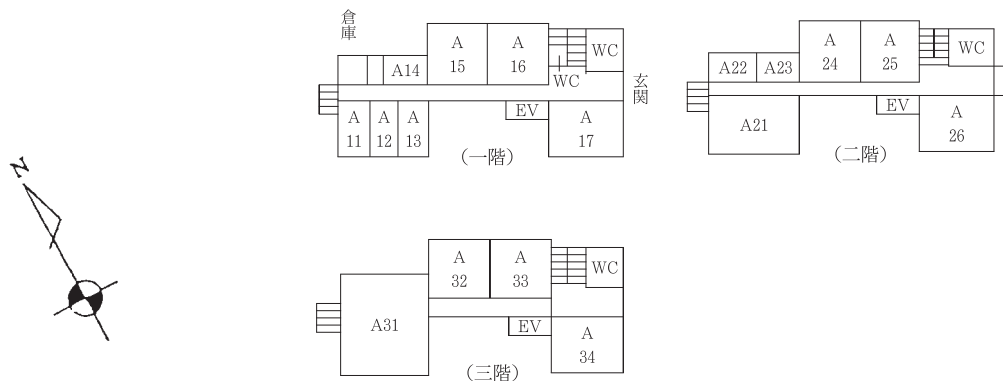
第1回目の授業時(10月1日(月)~5日(金))に受講が許可された授業科目について、「受講申込カード」のうち教員保存用の紙片を授業担当教員に渡し、事務室保存用の紙片を国際言語文化研究科棟1階玄関の「受講申込カード提出用ボックス」に提出してください(締切厳守)。

期 間：2007年10月1日(月)~10月16日(火)

時 間：平日9:00~17:00

全学教育棟及び国際言語文化研究科棟教室配置図

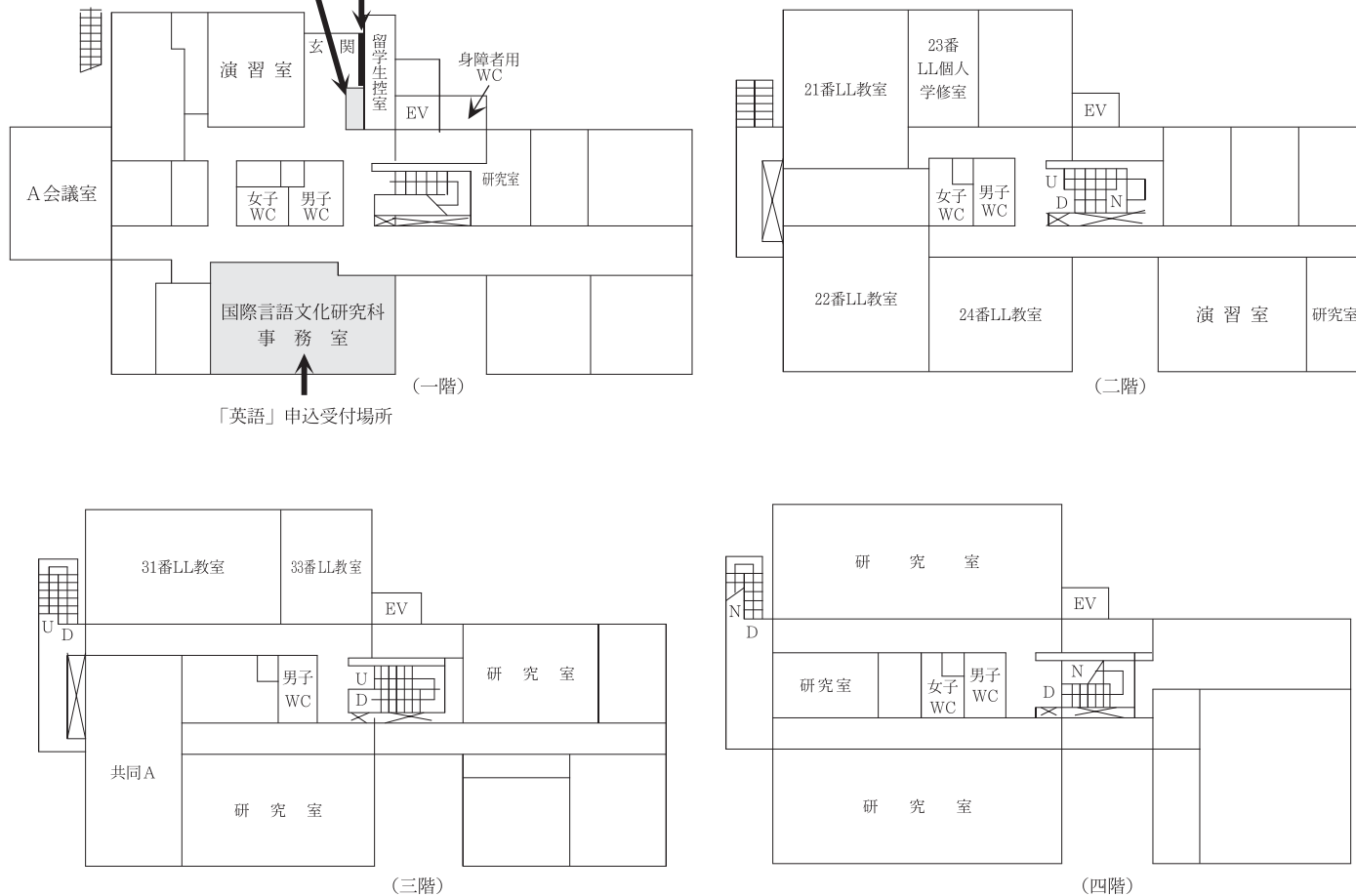
《全学教育棟 A館》



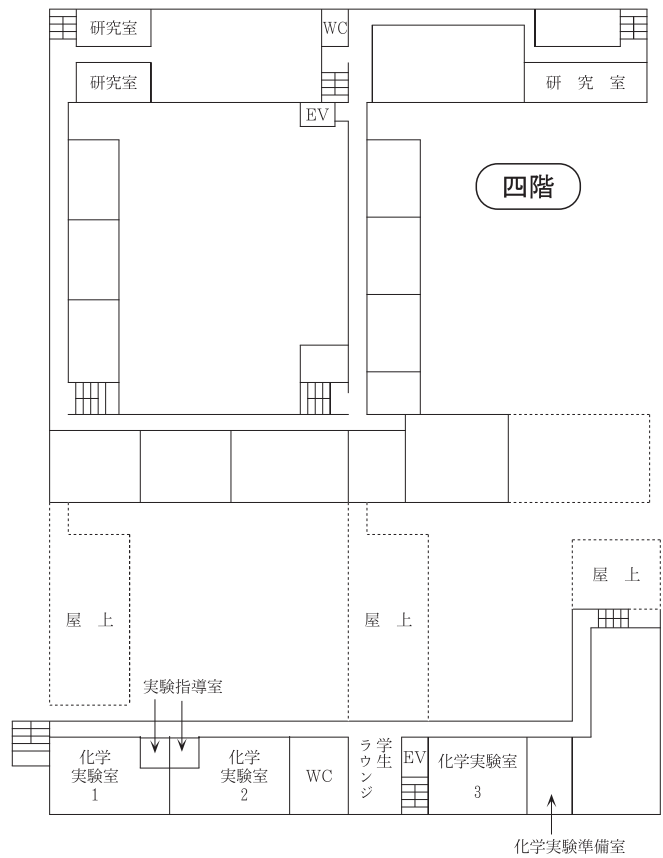
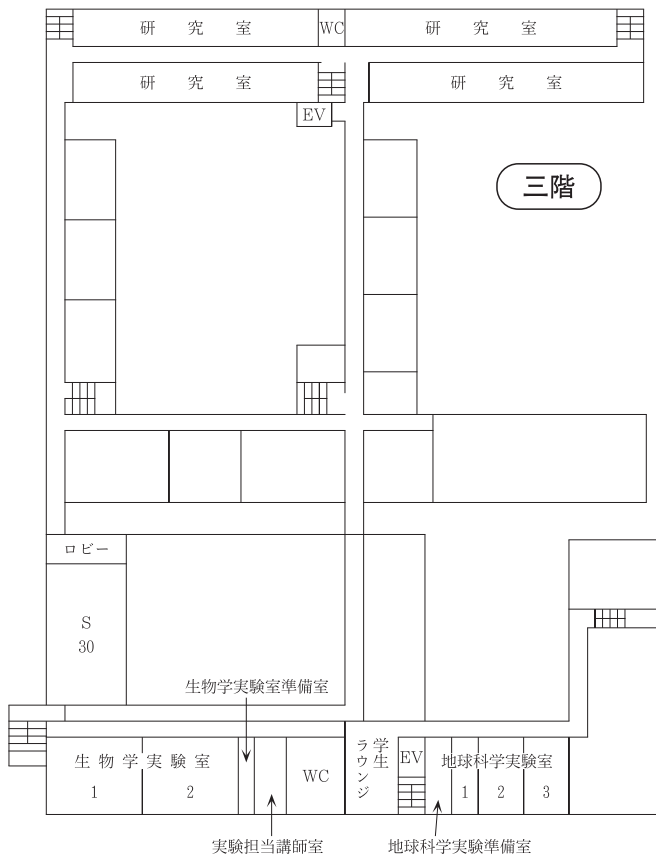
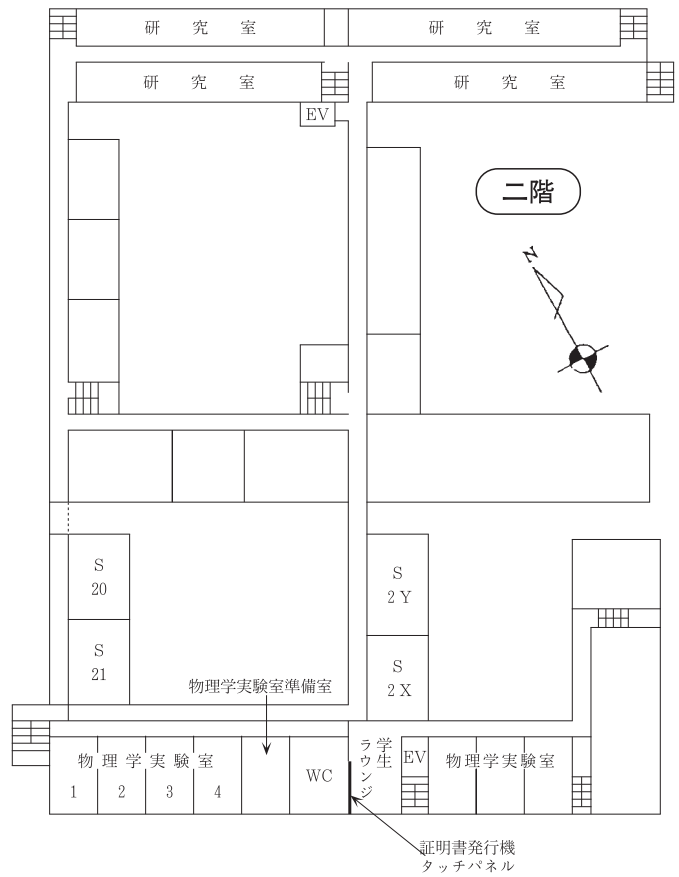
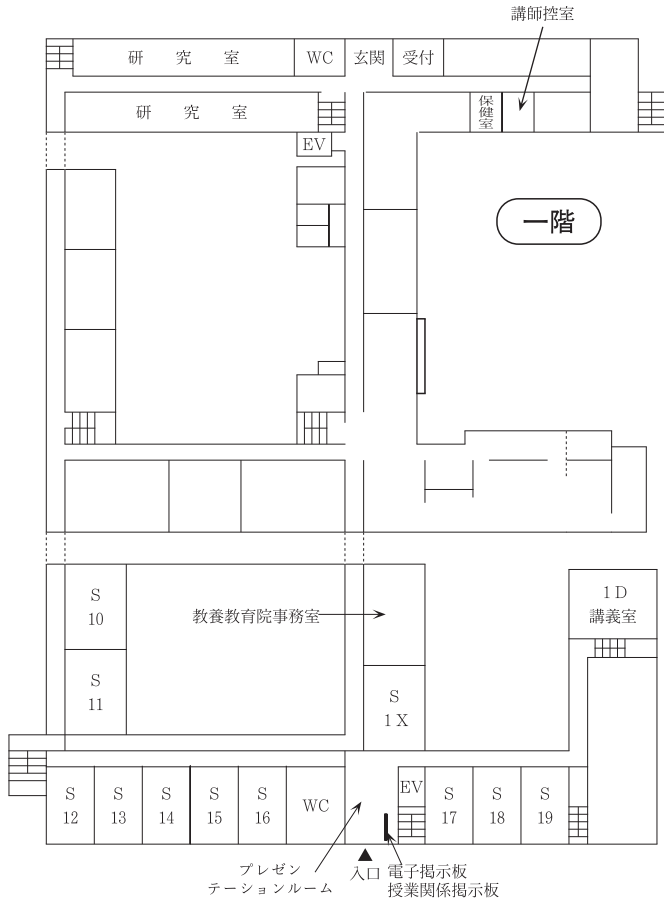
《国際言語文化研究科棟》

「受講申込カード」配付場所及び「英語以外の外国語」・「セミナー」申込受付場所

「全学向け授業」掲示板

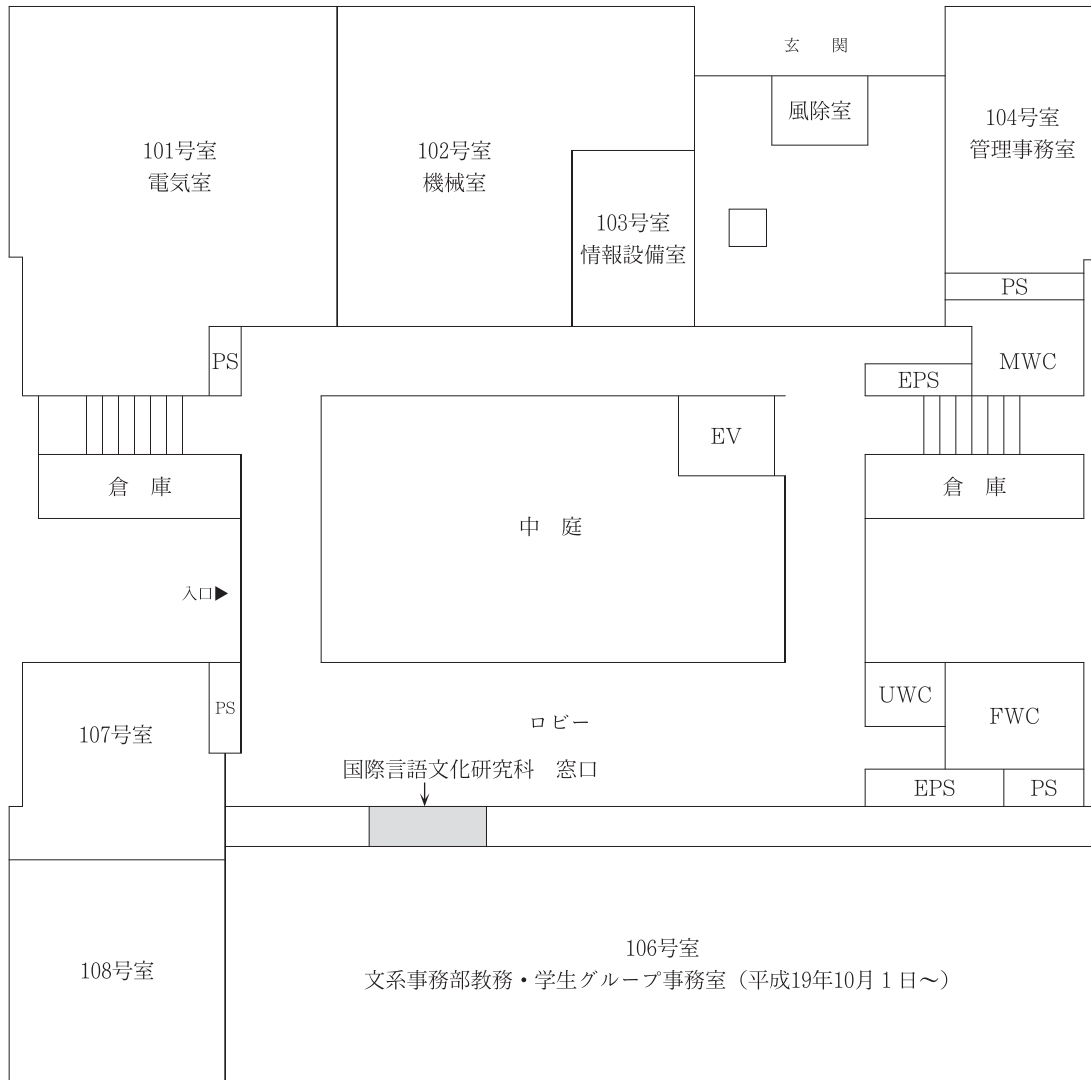


《全学教育棟本館（情報文化学部）》



文系総合館配置図

《文系総合館一階》



2007年度後期・授業時間割表

「外国語特別研修コース」

	授 業 科 目	記号	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	英語 Level 2b	A	POTTER SIMON R.	月(3)	A24	20	
	英語 Level 2b	B	LONGCOPE PETER D.	火(2)	A13	20	
	英語 Level 2b	C	POTTER SIMON R.	水(4)	S16	20	
	英語 Level 2b	D	POTTER SIMON R.	木(2)	S19	20	
	英語 Level 2b	E	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	A16	20	
	英語 Level 3b	F	HAIG EDWARD	火(3)	A33	20	
	英語 Level 3b	G	HAIG EDWARD	水(3)	語31	20	
	英語 Level 3b	H	LONGCOPE PETER D.	金(3)	A13	20	
ド イ ツ 語	ドイツ語 Level 1b		今井田 垂 弓	金(3)	S12	20	前期(小坂)から継続
	ドイツ語 Level 2b		J. Peters	火(3)	S21	20	前期から継続
	ドイツ語 Level 3b		J. Peters	水(4)	1 F演	20	前期から継続
フ ラ ン ス 語	フランス語 Level 1b		鶴 卷 泉 子	月(5)	語21	20	前期から継続
	フランス語 Level 2b		DUCROS GARANCE	月(5)	語24	20	前期から継続
ロ シ ア 語	ロシア語 Level 1b		SAVELIEV IGOR	火(2)	語33	20	前期から継続
	ロシア語 Level 2b		山崎 タチアナ	金(3)	A11	20	前期から継続
中 国 語	中国語 Level 1b		加 納 光	水(2)	A32	20	前期から継続
	中国語 Level 2b		前 田 光 子	月(3)	A25	20	前期から継続
ス ペ イ ン 語	スペイン語 Level 1b		A. Villalobos	水(4)	S14	20	
	スペイン語 Level 2b		西 村 秀 人	木(4)	語33	20	
朝 鮮 ・ 韓 国 語	朝鮮・韓国語 Level 1b		洪 順 愛	金(3)	A12	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		金 元 榮	火(4)	A12	20	前期から継続
	朝鮮・韓国語 Level 2b		鄭 芝 淑	木(5)	1 F南	20	前期から継続
ポルトガル語	ポルトガル語 Level 1b		重 松 由 美	木(2)	A12	20	前期から継続
ア イ ヌ 語	アイヌ語 Level 1		小 坂 光 一	月(2)	語33	20	
イ タ リ ア 語	イタリア語 Level 1b		C. Galisch	水(4)	S15	20	前期から継続

「言語文化・表現セミナー」

	授 業 科 目	担当教員	曜日(時限)	教室	定員	備 考
英 語	言語文化セミナー	長 畑 明 利	月(4)	S12	20	全学部
	言語文化セミナー	福 田 眞 人	火(4)	語33	20	全学部
	言語表現セミナー	岩 城 奈 巳	火(1)	語31	20	全学部
	言語表現セミナー	上 原 早 苗	火(5)	S14	20	全学部
	言語表現セミナー	外 池 俊 幸	木(3)	A12	20	全学部

主) 講義室の表示について

- 「31番」(数字で始まるもの), 「サブラボB」: 全学教育棟本館 ○「A34」(Aで始まるもの): 全学教育棟A館
- 「S19」(Sで始まるもの): 全学教育棟本館南棟 ○「語33」(語で始まるもの), 「1F演」, 「1F南」: 国際言語文化研究科棟
- 「留セ」: 留学生センター

〈外国語特別研修コース〉

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2b	POTTER SIMON R.	月(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main objective of Intermediate English will be to cultivate better linguistic skills and habits as well as to increase fluency through informal, relaxed practice.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Beginning-level university English or the equivalent.</p> <p>授業内容 Essentially for students who have completed beginning-level university English, or have at least the equivalent in experience and ability, Intermediate English will focus on using the English language for purposes of communication. Class sessions will be devoted to conversation, but preparation will require reading and/or writing materials to be discussed. Topics will include current events, social or cultural issues, collegiate studies, and serious items of personal interest.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based predominantly on participation and impressions made throughout the course, but an examination to determine practical ability might be given if necessary.</p> <p>教科書 Some reading materials will be made available as handouts.</p> <p>参考書 None is required, but an English-to-Japanese and a Japanese-to-English dictionary would be useful.</p> <p>注意事項 Participation is very important.</p>
英 語 Level 2b	LONGCOPE PETER D.	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this class is to help students improve their communication skills. The main foci of the class will be speaking and listening, but we will also do some written work.</p> <p>授業内容 Much of the work that we will do in this class will be group-work and pair-work. The tasks that students participate in during class will be meaning-based but will also be devised in a way to draw their attention to various aspects of the language. These tasks - which will include interaction tasks as well as listening and speaking tasks - will make up the bulk of the contents of the class.</p> <p>成績評価方法 Class Participation, Homework, and Tests</p>
英 語 Level 2b	POTTER SIMON R.	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main objective of Intermediate English will be to cultivate better linguistic skills and habits as well as to increase fluency through informal, relaxed practice.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Beginning-level university English or the equivalent.</p> <p>授業内容 Essentially for students who have completed beginning-level university English, or have at least the equivalent in experience and ability, Intermediate English will focus on using the English language for purposes of communication. Class sessions will be devoted to conversation, but preparation will require reading and/or writing materials to be discussed. Topics will include current events, social or cultural issues, collegiate studies, and serious items of personal interest.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based predominantly on participation and impressions made throughout the course, but an examination to determine practical ability might be given if necessary.</p> <p>教科書 Some reading materials will be made available as handouts.</p> <p>参考書 None is required, but an English-to-Japanese and a Japanese-to-English dictionary would be useful.</p> <p>注意事項 Participation is very important.</p>
英 語 Level 2b	POTTER SIMON R.	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい The main objective of Intermediate English will be to cultivate better linguistic skills and habits as well as to increase fluency through informal, relaxed practice.</p> <p>履修条件・関連する科目等 Beginning-level university English or the equivalent.</p> <p>授業内容 Essentially for students who have completed beginning-level</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 2b	POTTER SIMON R.	木(2)	20	<p>university English, or have at least the equivalent in experience and ability, Intermediate English will focus on using the English language for purposes of communication. Class sessions will be devoted to conversation, but preparation will require reading and/or writing materials to be discussed. Topics will include current events, social or cultural issues, collegiate studies, and serious items of personal interest.</p> <p>成績評価方法 Grades will be based predominantly on participation and impressions made throughout the course, but an examination to determine practical ability might be given if necessary.</p> <p>教科書 Some reading materials will be made available as handouts.</p> <p>参考書 None is required, but an English-to-Japanese and a Japanese-to-English dictionary would be useful.</p> <p>注意事項 Participation is very important.</p>
英 語 Level 2b	STAVOY JOSEPH A.	金(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい This course will utilize materials provided by the teacher. The main focus of the course is to provide higher and more challenging levels of speaking and listening opportunities for students. Functional and cultural activities will be predominant but there will also be some grammar and pronunciation exercises in the mix. Music and films will be used as supplementary material.</p> <p>授業内容 This syllabus is subject to change.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Functions/Grammar: Talking about vacations; past tense 2. Function/Grammar: Indirect questions; personal opinions 3. Function/Grammar: Frequency adverbs; talking about jobs 4. Function: Talking about family/descriptive adjectives 5. Function/Grammar: Discussing morality/1st and 2nd conditionals 6. Function/Culture: Music around the world 7. Culture/Function: Jobs and Occupations 8. Function/Grammar: Infinitives and gerunds/Home remedies 9. Grammar/Culture: Relative clauses/Fairy tales 10. Culture: Holidays around the world 11. Function: Agreeing and disagreeing 12. Culture: A Christmas Story 13. Review and consolidation <p>成績評価方法 Students will be evaluated on attendance, participation and examinations.</p>
英 語 Level 3b	HAIG EDWARD	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The primary purpose of this advanced level course is to assist students whose theoretical knowledge of English is already comparatively high to gain greater confidence and spontaneity in practical spoken interaction. It aims to do this firstly by introducing students to an exciting form of drama known as improvisation and secondly by exploring in a 'readers theatre' workshop format the work of some outstanding contemporary British dramatists.</p> <p>履修条件・関連する科目等 There are no required subjects for this course. However, students who have previously taken this instructor's intermediate level course will find a certain degree of overlap during the first few weeks.</p> <p>授業内容 This course will be organized roughly as follows:- Firstly, we will begin by briefly reviewing some of the improvised drama games practiced in this instructor's intermediate level course. In this part of the course, students will work in teams to perform short improvised scenes in English. These scenes do not require any memorization of scripts but rely instead on the interaction between students' linguistic resources and their imaginations. The aim is to create a cooperative and supportive environment in which students develop their ability to work creatively and confidently with whatever communication resources they possess.</p> <p>Secondly, once the above target has been achieved students will move</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 3b	HAIG EDWARD	火(3)	20	<p>on to practicing what is known as 'readers theatre'. In this part of the course, students will perform short plays or scenes from longer plays by contemporary British playwrights. Here too there will be no requirement to memorize scripts and the emphasis will be on bringing to life the words on the page in as entertaining and dynamic a way as possible. One of the playwrights whose work we will be studying this year is Harold Pinter who was awarded the 2005 Nobel Prize for Literature.</p> <p>成績評価方法 Students will be evaluated according to their rate of attendance (40%) and degree of active participation in the lessons (50%) (both of which are of great importance in this rather unique course) and a final oral report (10%).</p> <p>教科書 None. Materials for readers theatre lessons to be supplied by the instructor; imagination to be supplied by the students.</p> <p>注意事項 Students who enroll for this course should be aware that it requires a high level of physical and mental activity.</p>
英 語 Level 3b	HAIG EDWARD	水(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The aim of this advanced course is to develop students' critical media literacy, that is, their ability to understand and appreciate a variety of media texts in ways that emphasize looking beyond the surface of texts to think critically about the discourses and ideologies which underlie them. Focusing on a variety of English media texts, students will be expected to critically consider the complex relationships between media texts, media producers (both individuals and industries), media audiences and the wider sociocultural context.</p> <p>授業内容 This course will be divided into three stages. In the first stage of the course, we will consider what is meant by the terms 'media literacy' and, particularly, 'critical media literacy'. We will discuss the importance for citizens in modern media-saturated societies of developing forms of critical media literacy. In this stage of the course we will also discuss a number of theories concerning the media, media literacy and media studies. We shall begin with the pioneering work of such scholars as F.R. Leavis and Denys Thompson and then go on to consider the work of later theorists such as Marshall McLuhan and Noam Chomsky. This section will conclude with an introduction to Norman Fairclough's linguistically-based approach to media texts which has been developed from his theory of Critical Discourse Analysis (CDA). In the second stage of the course, we shall attempt to apply and evaluate Fairclough's approach to media literacy in relation to a number of media texts. The choice of texts will depend on the particular interests of the course participants but it is likely that one major focus will be on texts related to environmental issues and problems such as climate change, alternative energy, sustainable development and genetically modified organisms. In the third stage of the course, participants will be invited to conduct their own small research projects into some aspect of the media, once again applying Fairclough's ideas and techniques, and reporting their findings in oral presentations to be given at the end of the course.</p> <p>成績評価方法 Students will be evaluated according to their rate of attendance (25%), degree of active participation (25%), research project (25%) and final oral presentation (25%).</p> <p>教科書 None. Reading materials to be provided by the instructor.</p> <p>参考書 None. However, students may find it beneficial to use an English-English learners' dictionary, either in printed or electronic form. One of the best such dictionaries currently available is the 'Longman Dictionary of Contemporary English'.</p> <p>注意事項 Since this course is primarily intended as an English communication course, study materials, media texts and class discussions will all be in English. However, students will be encouraged to apply the theoretical principles and techniques introduced in this course to media texts in their own languages.</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 Level 3b	LONGCOPE PETER D.	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい The purpose of this class is to help students improve their communication skills. The main foci of the class will be speaking and listening, but we will also do some written work.</p> <p>授業内容 Much of the work that we will do in this class will be group-work and pair-work. The tasks that students participate in during class will be meaning-based but will also be devised in a way to draw their attention to various aspects of the language. These tasks-which will include interaction tasks as well as listening and speaking tasks-will make up the bulk of the contents of the class.</p> <p>成績評価方法 Class Participation, Homework, and Tests</p>
ド イ ツ 語 Level 1b	今井田 亜弓	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい ドイツ語を初めて学ぶ受講生を対象に、一貫した授業計画に基づいてドイツ語に関する基礎知識と運用力を養成する科目です。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく総合的に身につけることを目指します。</p> <p>履修条件・関連する科目等 授業は演習（特に口頭練習）を中心に行われますので、毎回出席できることが履修の条件となります。</p> <p>授業内容 前期、小坂先生の授業方針を受け継いで行います。 1. この授業ではドイツ語会話の基礎となる事項を練習します。 2. 学習する内容は以下の通りです： 1. 再帰代名詞、接続詞 2. 付加語的形容詞の格変化 3. 過去形 4. 接続法Ⅱ 5. 形容詞・副詞の原級・比較級・最上級 6. 関係代名詞 3. 無断欠席は4回までとします。 4. 授業中は間違いを恐れず、思い切って練習してください。 5. 授業の流れは以下の通りです。 1. 単語ごとの練習 2. コンマごとに区切った練習 3. センテンスごとの練習 4. カセットテープと同時に（ポーズなしで）発音する練習 5. 書き取りの練習 6. 書き取った内容に関するドイツ語での質問にドイツ語で答えるテクニックの練習</p> <p>成績評価方法 平常のできばえ・積極性と試験の結果が総合的に判断されます。</p> <p>教科書 小坂光一著『ドイツ語で話してみよう』（同学社） 参考書 小坂光一著『マニュアルドイツ語ABC』（郁文堂）（必要と思う人だけ） 注意事項 毎回きちんと出席してください。</p>
ド イ ツ 語 Level 2b	J. PETERS	火(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい このコースは「聞く・話す」と「読み・書く」能力を養成する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 優れた初級能力を持っている。</p> <p>授業内容 すでに身に付けたドイツ語力により磨きをかけるために、教科書の文章、会話テキスト、練習問題を使うとともに、折に触れて補助教材も併用しながら学んでいきたいと考えます。</p> <p>成績評価方法 30%平常点（宿題、積極的な授業参加（＝熱心な取り組み、態度など）、50%小テスト、20%学期末の試験）</p> <p>教科書 教材については、学生諸君と相談して決めます。</p> <p>注意事項 このコースは前期から引き継がれる。</p>
ド イ ツ 語 Level 3b	J. PETERS	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい このコースは「聞く・話す」と「読み・書く」能力を養成する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中級能力を持っている。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ドイツ語 Level 3b	J. PETERS	水(4)	20	<p>授業内容 ドイツ語力をさらに強化・発展させるという目標に到達するために、教科書の文章、会話テキスト、練習問題を使うとともに、折に触れて補助教材も併用しながら学んでいきたいと考えます。</p> <p>成績評価方法 50%平常点（宿題、積極的な授業参加（＝熱心な取り組み、態度など）、50%小テスト</p> <p>教科書 教材については、学生諸君と相談して決めます。</p> <p>注意事項 このコースは前期から引き継がれる。</p>
フランス語 Level 1b	鶴 巻 泉 子	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい フランス語の基礎的な文法知識を獲得しつつ、それと同時に初歩的な運用能力も修得することを目指す。また、フランス語圏の社会と文化について、基礎的な知識を与える。</p> <p>履修条件・関連する科目等 新たにフランス語を始める学生のためのクラス。前期に開講されるフランス語 Level 1a を引き継ぐ。前期も履修することが望ましい。</p> <p>授業内容 週一度の授業で一年間かけてフランス語の基礎を修得する。前期の藤村先生の授業を受け、後期には、複合過去・半過去・単純未来・条件法・接続法・ジェロンディフなど、動詞の様々な使い方を主な柱として学んでゆく。このような動詞の時制・法は単に過去や未来の違いに関わるのではなく、文章の細かなニュアンスやフランス語の発想の独特性とも複雑に絡んでいる。それを少しずつ感じ取るための基礎固めをしっかりと進めたい。</p> <p>他方、教科書のダイアログの素材となっているのはスポーツ、メディア、大学、コンピューター、観光、仕事など、様々な日常的場面であり、実際に使える便利な表現が多く含まれている。授業での練習の他に、CDを使った自宅学習を並行に進めることによって、会話・聴解の基礎もしっかり身につけられるだろう。</p> <p>成績評価方法 平常点（授業への積極的な参加・小テストなど）30%、定期試験70%</p> <p>教科書 「新CDフランス語文法」 大木充他著 朝日出版社</p>
フランス語 Level 1b	DUCROS GARANCE	月(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい L'objectif du cours sera d'arriver a articuler des expressions de maniere simple afin de pouvoir raconter des experiences, rapporter des evenements, parler de ses rêves et de ses buts, ainsi que d'exposer les raisons de ses opinions.</p> <p>授業内容 Les etudiants renforceront leurs competences en francais avec la methode "Taxi! 2" qui presente les avantages d'atteindre les objectifs linguistiques du niveau A2 du Cadre europeen commun pour l'apprentissage des langues, ainsi que de se familiariser avec la societe francaise et son actualite.</p> <p>Le principe methodologique du cours sera d'observer des documents originaux varies tels que des dialogues, des affiches de publicite ou de courts articles, de les analyser en detail, de reprendre certains points grammaticaux si necessaire, de reutiliser les expressions-cles et d'en discuter.</p> <p>Les themes concretement abordes seront choisis en fonction du profil des etudiants.</p> <p>成績評価方法 平常点（積極的な授業参加、宿題）30%、小テスト 20%、学期末の試験 40%</p> <p>教科書 "Taxi! 2", Hachette FLE</p> <p>参考書 授業の中で適宜指示する。</p> <p>注意事項 日仏辞書が必要。</p>
ロシア語 Level 1b	SAVELIEV IGOR	火(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ロシア語の基礎を学ぶための科目である。バランスよくロシア語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日常会話の練習や平易な文章の講読も行う。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することによりロシア語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「ロシア語に触れる」である。</p> <p>授業内容 ロシア語の基礎を学ぶための科目で基礎文法の学習を主眼とする。さらにそれに加えて、ロシアの文化・現実も覗いてみたい。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ロシア語 Level 1b	SAVELIEV IGOR	火(2)	20	<p>授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文字と発音 (1) 2. アクセントと基本的な平叙文と疑問文 (1) 3. 文字と発音 (2)、基本的な平叙文と疑問文 (2) 4. 名詞の性 5. 文字と発音 (3)、動詞の現在人称変化 (1) 6. 子音の同化、アルファベット 7. 名詞の複数形と正書法の規則 8. 所有代名詞と疑問代名詞 9. 名詞の格と指示代名詞 10. 形容詞の性・数の変化 11. 動詞の現在人称変化 (2) 12. 前置格と前置詞 13. 動詞の過去形、生格 14. 所有の表現とその否定 15. 対格、活動体と不活動体 <p>成績評価方法 学期末試験と出席を重視する。授業への参加度も評価する。 教科書 佐々木照央「速修ロシア語」(白水社)。 参考書 露和辞典は、「研究社露和辞典」、「博友社露和辞典」、「岩波露和辞典」のうちから一冊を購入すること。 注意事項 音読と辞書引きは不可欠。</p>
ロシア語 Level 2b	山 崎 タチアナ	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい ロシア語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習うロシア語から使うロシア語」を指向する科目である。さらに高度な文法知識を得ると同時に、生のロシア語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけロシア語を用いる。また、言語文化1あるいは初級ロシア語に引き続き、さらにロシア語世界の理解を深める。目標は、ロシア語の語彙を増やしながら、自分のことを相手にロシア語で正しく伝えることができるようにすることです。</p> <p>授業内容 ロシア語に限らず各外国語の学習に欠かせないのは、「書く」、「読む」、「話す」、「聞く」という過程ですが、この授業はこれら4つの過程を逆順にし、授業を進行して いきます。ウォーミングアップとして、毎回日付や天気をロシア語で確かめ、一つの単語を抜き打ちで取り上げ、それに関する慣用句、日常の言い習わしを練習します。ロシア語の重要単語の中から、毎回幾つかを取り上げてそれに関する短いテキストを読んだり、質疑を活発に行ったりします。ロシア語で言葉のクイズをします。</p> <p>授業詳細：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 季節のお話：秋とクイズ 2. 家族の紹介とクイズ 3. ロシア料理とクイズ 4. 季節のお話：冬とクイズ 5. 町を歩く、その1とクイズ 6. 町を歩く、その2とクイズ 7. ロシア地図とクイズ 8. 前半の復習とクイズ 9. 季節のお話：春とクイズ 10. 私の趣味とクイズ 11. 平日の過ごし方とクイズ 12. 週末のレジャーとクイズ 13. 季節のお話：夏とクイズ 14. 大学を卒業したらとクイズ 15. 「私とロシア語」、フリートークキング <p>成績評価方法 評価の方法は、出席を重視すること、および試験期間内のマンツーマンでの口頭試験の二つによって評価します。特に出席は重視します。 教科書 プリント配布 参考書 参考書は授業中に指示する。露和辞典は、「博友社ロシア語辞典」、「岩波ロシア語辞典」、「研究社露和辞典」の内から一冊を購入すること。 注意事項 授業に積極的に参加することが望まれます。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
中国語 Level 1b	加納 光	水(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい 中国語 Level 1bは、中国語 Level 1aの継続であり、教科書も中国語 Level 1aで使用した教科書を継続して用いる。引き続き正しい発音の習得に重点を置きながら、今後中国語の学習を続けていくうえで必要な読解力、表現能力等の養成を目的とする。</p> <p>履修条件・関連する科目等 院生及び教職員も受講の対象とする。</p> <p>授業内容 中国語 Level 1bでは、中国語 Level 1aで習得した411の音節の発音を固めながら、基礎的な文法事項を解説する。特に兼語文・比較表現・受身文・各種の補語・接続詞等に対する理解を促し、読解力の一層の養成を図るとともに、中国語表現の特徴について理解を深めるように指導する。</p> <p>成績評価方法 平常点と期末試験による。</p> <p>教科書 加納光・白木通・成戸浩嗣著「ようこそ、中国語の世界へ」(白帝社)</p>
中国語 Level 2b	前田光子	月(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい この授業は日本人講師による講読を中心とした授業であり、より高度な読解力の養成を目的とする。 中国語の初級(発音・文法事項等)をすでに習得した学生を対象とし、さらに高度な文法的知識を得、それを確実に身につけると同時に、現代中国についての理解を深める。</p> <p>履修条件・関連する科目等 中国語または中国に対して興味を持ち、且つ学習意欲が旺盛であること 中国語の初級(発音・文法事項等)を習得していること</p> <p>授業内容 中国語中級の読み物を中心としたテキストを用いる。以下のようなテーマについて書かれたテキスト本文を、これまでに習得した単語・文法事項、同時に発音を確認しながら正確に読解し、現代中国についての理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済改革と開放政策 2. 百万長者と億万長者 3. 名前 4. 広東語と共通語 5. 結婚事情 6. マイホームとマイカー 7. 専業主婦 8. リストラ 9. インターネット 10. 割り勘 11. タクシー事情 12. 外来語 <p>原則として一回に一課をこなし、学び終えたものについては次回必ず復習を行なう。そうすることによってさらに高度な文法的知識やより多くの語彙を確実に身につけ、使えるものにしていく。</p> <p>成績評価方法 平常点(授業時の復習、課題及びレポートなどを含む)：期末試験＝8：2</p> <p>教科書 「今日の中国トピック12—新しい中国の生活とことば」山下輝彦著 金星堂</p> <p>参考書 必要に応じて授業時に指示する。</p> <p>注意事項 履修希望者は第一回目の授業に必ず出席すること。(履修希望者多数の場合、選抜試験を行う可能性があるため。) 毎回の復習をきちんとこなすなどの積極的授業態度を求める。</p>
スペイン語 Level 1b	A. Villalobos	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 前期同様、基礎文法の学習を進めながら、簡単な文を使ってコミュニケーションができるよう練習を重ねていく。 聞く・話す・読む・書くといった総合的基礎言語能力の伸長に努めたい。</p> <p>履修条件・関連する科目等 特にないが、前期からの継続であるため、初歩あるいは入門程度のスペイン語の知識があることが望ましい。</p> <p>授業内容 文法学習は、動詞gustar、再帰動詞、現在・過去分詞、受動態、動詞の活用(過去形)、関係詞など、より複雑な文法内容に取り組むことに</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
スペイン語 Level 1b	A. Villalobos	水(4)	20	<p>より、会話力・作文力の向上に結びつけていきたい。 教科書の第12課から学習したい。 教科書の内容は以下のとおりである。 文法事項とともにスペイン語によるコミュニケーションを学ぶ。 2ないし3回の授業で一つの課を学ぶ。</p> <p>第12課 gustar型の動詞、比較級 第13課 再帰動詞 第14課 点過去(不定過去) 1 規則活用動詞 第15課 点過去(不定過去) 2 規則活用動詞、不定語・否定語 第16課 線過去(不完了過去)、間接話法 第17課 過去分詞、現在完了形</p> <p>時間に余裕があれば、第20課の未来形を扱う。 2課ごとに、若い人たちの歌うスペイン語の歌を扱う。 コミュニケーションボードも参照。</p> <p>成績評価方法 1) 出席4回を限度とする。2) 試験90%、3) 授業時の態度10%</p> <p>教科書 「En español, por favor! スペイン語をお願いします!」同学社。 参考書 西和辞典 注意事項 開講時、受講者の学習歴に差違があることが予想されるが、充分配慮の上、授業を進めるので、遠慮なく質問をし要望を担当者へ言って欲しい。 受講生には、スペイン語世界の言語と文化に積極的な関心を持って授業に参加することを期待する。</p>
スペイン語 Level 2b	西村 秀人	木(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 本授業の目的は、これまで学習してきたスペインの基礎文法を踏まえた上で、それらをさらに発展させ、実践的で総合的なスペイン語の理解を深めることにある。具体的にはラテンアメリカに関するさまざまなタイプの文章を読み解くことで、これまで学習してきた文法事項も確認しつつ、より具体的なスペイン語の運用を目指す。</p> <p>履修条件・関連する科目等 第Ⅰ・Ⅱ期スペイン語1・2・3・4またはスペイン語Level 1a・bを受講している、もしくは、それと同等の基礎知識を有すること。</p> <p>授業内容 原則として受講者の希望・レベルによって授業内容は調整するが、基本的にはスペイン語で書かれたさまざまなタイプの文章を購読していくことに重点を置いていきたい。 この授業で扱うのは、 (1) ラテンアメリカ諸地域を扱った新聞記事 (2) ラテンアメリカ各地域の食文化・音楽・社会問題などに関する短めの文章 (3) ラテンアメリカのジョーク (4) スペイン語テレビ放送のヒアリング・それに関連する作文等である。 またラテンアメリカの音楽CDを使ったヒアリングも随時行っていきたい。 さらに購読した内容を踏まえた上で自分の意見を作文する、あるいはその内容に関する質問に自由に答えるといった実践的な訓練も可能な限り行っていきたいと考えている。 文章の購読に際しては適宜文法的解説も含め、これまで学んできた基礎文法のより完全な理解を目指したい。また文法的な問題だけではなく、さまざまなタイプの文章を読解していくことによって、読解のスピードを上げるのに必要な「スペイン語に対する勘」を育てていきたい。</p> <p>成績評価方法 出席状況、授業への積極的な参加、レポート、定期試験の結果を総合的に評価する。</p> <p>教科書 随時プリント等を配布する。 参考書 新聞、WEBページなど授業時に随時紹介する。 注意事項 履修条件と授業内容を十分に理解した上で登録すること。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	洪 順 愛	金(3)	20	<p>本講義の目的およびねらい 新たに朝鮮・韓国語を習う学生ばかりでなく今一度基礎からやり直したい学生も対象とする、朝鮮・韓国語の基礎を学ぶための科目である。 バランスよく朝鮮・韓国語を学べるよう、基礎文法の学習だけではなく日</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・ 韓国語 Level 1b	洪 順 愛	金(3)	20	<p>常会話の練習や平易な文章の講読も行なう。併せて、文化・風俗・歴史・社会事情など背景的知識を学習することにより朝鮮・韓国語世界の諸相を理解し、国際的視野の涵養を図る一歩とする。目標は「朝鮮・韓国語に触れる」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 朝鮮・韓国語 Level 1aからの継続であるが、相応の準備があれば後期からでも受講可。</p> <p>授業内容 この授業では次のような能力を養成する。 書記法・発音…ハングルで書かれた文章を確実に読めるようにし、簡単な文章をハングルで正しく書けるようにする。 文 法…基礎的文法を学習する。 日本語話者にとって韓国語の文法事項のうち最も重要なものは用言の活用であるので、この点に重点を置いて学習する。 学習する主な文法事項は次の通りである。 ・語基の作り方と使い方 ・不規則活用 ・機能別の文種（命令文・禁止文・勧誘文・感嘆文） ・可能否定文 ・過去形 ・進行形 ・可能文 ・願望形 ・緩叙形 ・連体形 ・基本的な接続表現（「～して」「～するが」「～すれば」「～するので」「～しながら」などに相当するもの） ・文体（くだけた丁寧体） ・話し言葉の特徴 口頭表現力…上の文法事項を含む文章を使って簡単な会話ができるようにする。</p> <p>成績評価方法 出欠状況、小テスト及び期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験の成績が総合成績に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 朝鮮・韓国語 Level 1a で用いた教材と同じ。</p> <p>参考書 必要なものは授業中に指示する。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	金 元 榮	火(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。 また、言語文化 I あるいは朝鮮・韓国語 Level 1 に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化 I あるいは朝鮮・韓国語 Level 1 を履修した者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくても構わない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文 I の学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。 学習事項は、次のような表現形式である。（ただし、順不同。時間の都合により項目の出し入れもある） 1) 自己紹介…他人に自分を紹介するための基本的な表現形式を学習する。 2) 紹介…他人を紹介するための様々な表現形式を学ぶ。 3) 出会いと別れ…様々な出会いと別れの場面に用いられる表現を学習する。 4) 約束…人と何かを約束するとき用いる表現を学習する。 5) 道聞き…人に道を尋ねるときに使われる代表的な表現形式を学ぶ。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	金 元 榮	火(4)	20	<p>6) 電話…電話での対話の基本形式に習熟する。 7) 宿泊…宿泊の予約や宿泊施設内での対話に用いられる表現を学習する。 8) 病院で…診療の際の医師との対話に必要な表現を学習する。 9) 食堂で…食堂で料理を注文するなど従業員との対話に使われる表現を学習する。 10) ノレバンで…カラオケに行って歌を楽しむ時の対話を学習する。これについては、受講者の希望があれば実際にカラオケで行うかも知れない。</p> <p>成績評価方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。期末試験は韓国語による面接試験とし、その評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。 参考書 必要な物は授業中に指示する。 注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
朝鮮・ 韓国語 Level 2b	鄭 芝 淑	木(5)	20	<p>本講義の目的およびねらい 朝鮮・韓国語の初級文法をすでに習得した学生を対象とし「習う朝鮮・韓国語から使う朝鮮・韓国語」を指向する科目である。さらに高度な文法的知識を得ると同時に、生の朝鮮・韓国語に実践的に対応できるような運用能力を養成する。したがって、口頭表現力、聴解力を養成するための授業ではできるだけ朝鮮・韓国語を用いる。 また、言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 に引き続き、さらに朝鮮・韓国語世界の理解を深める。目標は「朝鮮・韓国語を活かす」である。</p> <p>履修条件・関連する科目等 言語文化Ⅰあるいは朝鮮・韓国語 Level 1 の履修者を対象とするが、相応の力があればこれらを履修していなくてもかまわない。ただし、受講申請時に担当教員に相談すること。</p> <p>授業内容 この授業では朝鮮・韓国語 Level 1 あるいは言文Ⅰの学習を通じて得た文法的知識に基づく口頭表現力および聴解力の養成を目指す。授業はできるだけ韓国語を用いて行い、「習うより慣れよ」の原則に従って学習する。発音や文法にこだわらずに、言いたいことを現在の能力を駆使して表現する姿勢と能力を養う。対話の相手が誰であるかに応じた異なる文体の表現を使えるようにする。 学習事項は、次のような表現形式である。(ただし、順不同。時間の都合により項目の出し入れもある)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 疑問…知りたいことを相手に尋ね、またそれに答えるための種々の表現形式を学習する。疑問形式は対話において最も重要な役割を果たし、ヴァリエーションも最も豊富であるので、特に重点を置いて練習する。 2) 否定…陳述を打ち消すための表現形式を学習する。 3) 感嘆…感情を込めて表現するための形式を学習する。 4) 依頼・指示・禁止…相手に何かをさせよう、あるいはほしくないようにするための表現形式を学習する。 5) 願望…自分がやりたいことを相手に伝える、あるいは相手の願望を尋ねるための表現を学ぶ。 6) 勧誘・提案…相手と共同して何かをしようというときに用いる表現を学習する。 7) 意志・予定…意思や予定を表す種々の表現に習熟する。 8) 推量・推測…出来事を推し量るときの表現形式を学習する。 9) 引用・伝聞…他人の言説を別の人に伝えるときの表現形式を学ぶ。 10) 可能・不可能…能力の有無、許可のあるなしを表す表現を学習する。 <p>成績評価方法 出席状況、平常点、期末試験の成績により総合的に評価する。ただし、期末試験は韓国語による面接試験とし、その総合評価に占める割合は6割程度とする。</p> <p>教科書 プリント教材。 参考書 必要な物は授業で指示する。 注意事項 日韓辞典を必ず用意すること。</p>
ポルトガル 語 Level 1b	重 松 由 美	木(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ポルトガル語 Level 1b は、ポルトガル語 Level 1a の継続であり、初めてポルトガル語を習う人だけでなく、あらためて基礎から学び直したい人も対</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
ポルトガル語 Level 1b	重松由美	木(2)	20	<p>象としている。ブラジルポルトガル語の発音及び基礎的な文法事項を学び、基礎的な会話力を身に付けることを目的とする。受講者の関心に応じてブラジルの文化や生活習慣の紹介も併せて行ってゆきたい。</p> <p>履修条件・関連する科目等 前期開講のポルトガル語 Level 1a の継続授業である。それを受講していない場合でも、ポルトガル語の基礎的な知識（参考：動詞の現在形活用の知識）を身に付けた人であれば、だれでも受講可能である。院生及び教職員も受講の対象とする。</p> <p>授業内容 ポルトガル語 Level 1b の授業は、前期に引き続き、週一回の授業で一年間かけてポルトガル語の基礎を習得するクラスである。ブラジルポルトガル語の基礎的な文法事項を徹底的に習得できるように、特に口頭での練習問題を繰り返し行う。また、状況を設定しての日常会話の練習を行い、基礎的な会話力を身に付けていく予定である。</p> <p>成績評価方法 授業への参加態度と定期試験の結果が総合的に判定される。</p> <p>教科書 必要資料を配布する。</p> <p>参考書 ポ日辞書が必要である。参考：『現代ポルトガル語辞典改訂版』池上岑夫他編、白水社。</p> <p>注意事項 毎回、辞書を持参すること。</p>
アイヌ語 Level 1	小坂光一	月(2)	20	<p>本講義の目的およびねらい ここでは「母語以外の言語」という意味で、便宜上「外国語」扱いをしている、と理解していただきたい。</p> <p>日本は単民族国家だ、とか、日本には日本語しかない、といった観念を捨てること、いろいろな言語に触れることが受講の目的である。日本にも日本語以外の言語があることを再認識する。</p> <p>履修条件・関連する科目等 もっばら口頭練習をするので、毎回授業に参加できることが履修の条件となる。</p> <p>授業内容 01. 今、アイヌ語を日常語として使用している人はいない。アイヌ語を話せる人はいるが、彼らも日常においてアイヌ語を使ってはいない。これは社会的な問題も原因している。従って、アイヌ語は消え行く運命にあるのかもしれない。しかし、私はこの言語を滅亡させたくはない。それが避けられないならばせめて消滅の時期を遅らせたい。この授業はそういう気持ちを込めて開講されている。</p> <p>02. アイヌ語は構造的に日本語と似ている面がある。一方朝鮮・韓国語に似ている面もある。そういう意味で言語学的には非常に面白い言語である。また、書き言葉を持たなかったアイヌ語から学ぶべき点も多々ある。</p> <p>03. この授業ではアイヌ語会話入門とでも言うべき授業をしたい。しかし、担当者（小坂）自身、アイヌ語の専門家ではないので、むしろ受講者の方々と共に勉強したいと思っている。</p> <p>04. アイヌ語会話と言っても、会話の機会・相手を見つけることは至難の技であるから、アイヌ語を学んでも、言語学を専門としない人にとっては、実用にはならないだろう。しかし、実用を目的としない言語学習や「外国語」以外の未知言語の学習もあっていいのではないだろうか。</p> <p>05. 授業ではアイヌ語を概観しながら、もっばら口頭練習をする。</p> <p>06. 授業での積極性、授業への貢献度、学習成果により成績評価する。</p> <p>成績評価方法 授業に対する平常の貢献度（30%）、授業中の積極性（40%）、普段の口頭表現のできばえ（30%）。ただ参加するだけでは良い評価は得られない。</p> <p>教科書 『エクスプレス アイヌ語』（白水社）及びプリント教材</p> <p>参考書 田村すず子：沙流方言アイヌ語辞典（草風館） 中川 裕：千歳方言アイヌ語辞典（草風館） 萱野 茂：萱野茂のアイヌ語辞典（三省堂）（いずれも高価。授業のためには不要）</p> <p>注意事項 授業に来たり来なかつたりする人、ただ出席しているだけの人は絶対にお断りします。</p>
イタリア語 Level 1b	C. Galisch	水(4)	20	<p>本講義の目的およびねらい イタリア語の基礎を習得し、イタリア語の文章を読み書き、イタリア語を話せるようにすること。</p>

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
イタリア語 Level 1b	C. Galisch	水(4)	20	<p>履修条件・関連する科目等 前期の授業（イタリア語 Level 1a）を履修することが望ましい。</p> <p>授業内容 前期授業よりやや高度な内容のイタリア語文法の基礎事項、特に動詞の変化を中心に解説しつつ、文章を読んだり書いたりすることを学習させる。会話の練習では現代イタリア語でよく使う表現を学び、イタリア語による表現能力の習得に重点を置く。</p> <p>成績評価方法 レポート（イタリア語による文章作成）の採点による。</p> <p>教科書 指定しない。会話の教材のみ必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>参考書 自習用に、自分に合ったイタリア語入門テキストとイタリア語辞書を選び入手すること。</p>

〈言語文化・言語表現セミナー〉

授業科目	担当教員	曜日・時限	定員	授 業 内 容
英 語 言語文化 セミナー	長 畑 明 利	月(4)	20	<p>本授業の目的およびねらい 英和翻訳の練習を通して、英文の読解力と日本語の表現力を伸ばす。一つの言語で書かれた文章を別の言語の文章に置き換えることの意味について考える。理解できる単語の数を増やす。</p> <p>履修条件・関連する科目等 学習への意欲と知的社会的関心。英語リーディングの単位を最低2単位取得していることが望ましい（学部生の場合）。履修条件とはしないが、だいたいTOPICで650点以上取れる人を対象にして授業をする予定。</p> <p>授業内容 英和翻訳のワークショップ。授業のあらまきは次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者は毎週与えられた課題を日本語に翻訳し、これを前日（日曜日）午後1時まで、電子メールで教員に送る。教員がこれをPDFファイルにして全員に送る（あるいはプリントアウトを授業時に配布する）。 ・授業では、最初に小テストを行う。文法項目ベースの試験で、あらかじめ項目（関係代名詞の使い方など）を予告する。 ・次に、課題全体について検討し、さらに、任意の訳文を採りあげて、受講者全員がコメントする。 ・基本的には緻密な英文解釈、もしくは英文の精読の授業であり、文法事項、構文、文化的背景等に留意しつつ課題に取り組むことになる。辞書、百科事典、インターネットなどを駆使して、正確な英文理解を目指す。 ・課題文は新聞・雑誌のコラム、論説文、歌の歌詞、短編小説、詩などを予定。 ・上記小テストに加え、たまに単語テスト、もしくはその場で辞書を使って英文を訳す実力テストなどを行う予定。 ・将来英語を用いて仕事をするを考えている者、留学希望者、大学院進学を考えている者には有益な授業となろう。 <p>成績評価の方法 小テストで一定の成績を得ることを単位取得の条件とする。そのうえで、学習への意欲、課題への取り組み、授業時のコメント、期末試験などにより、総合的に判断する。</p> <p>教科書 オンラインの文章、またはプリントを使用する。</p> <p>参考書 河野一郎『翻訳のおきて』（DHC）、柴田元幸『翻訳教室』（新書館）、中村保男『英和翻訳の原理・技法』（日外アソシエーツ）など。その他必要があれば、授業中に、またHPでも紹介する予定。</p> <p>注意事項 実力をつけたい人のためのクラス。欠席3回で単位放棄とみなす。私語、ケータイ、睡眠禁止。このシラバスと授業HPとで記載内容が食い違っている場合は、後者に従うこと。</p>
英 語 言語文化 セミナー	福 田 眞 人	火(4)	20	<p>本授業の目的およびねらい 英語を使って文化的事象を検討するセミナーである。 文献、資料は基本的に英語である。勿論、自分の好みで他の言語の資料を用いてもよい。 文献・資料を正確に読みとる力を養成する。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 文 化 セ ミ ナ ー	福 田 眞 人	火(4)	20	<p>しかもそこからさらにより深い理解に至る過程を経験する。つまり、知識を知恵にまで変える知の技術、技法を学ぼうとする試みである。</p> <p>履修条件・関連する科目等 英語（リーディング・コミュニケーション）を関連科目として取り、より幅広い学習をすることをお勧めします。</p> <p>授業内容 今回のセミナーのテーマは「疫病、疾病、病気」と総称されるものである。 まず病気の定義から入って、その宗教的対応、医療的対応について詳述したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病気とはなにか 2 治療とはなにか 3 医学とはなにか 4 病気の歴史と医学の歴史 5 医者誕生とはなにか 6 結核の歴史：労咳―肺病―結核の系譜 7 診断と治療の歴史 8 ロマン化の歴史 9 文学にあらわれたる結核のイメージの追究 10 梅毒とはなにか 11 その伝播の歴史 12 エイズの歴史 13 今日の病気とはなにか 14 未来の医学、医療、病院、医師の像 15 結局、病気とはなにだったのか <p>成績評価の方法 発表（40％）とレポート（60％）</p> <p>参考書 Oxford English Dictionary Roget's Thesaurus Encyclopaedia Britannica</p> <p>注意事項 明るく楽しい授業にしたいのですが、それには積極的参加が求められます。求めれば、より与えられる。相互作用ですから、そこに意味を見出す学生に参加を促したいと思います。しかし、積極性を身に付けようという学生なら誰でも歓迎です。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	岩 城 奈 巳	火(1)	20	<p>本授業の目的およびねらい 英語資格試験でより高得点を指すためには語彙、文法、発音、表現、文章構成など学ぶべきことがたくさんあるが、すべてをただ覚えようとするだけでは英語の力を伸ばすことはできない。大切なのは今の自分が学ぶべき知識が何かを正確に把握すると同時に興味を持って学ぶことである。本講義はTOEFLの特にライティングを使用し個々の力を伸ばし、コミュニケーションを通じて英語の理解を深めていく。</p> <p>履修条件・関連する科目等 英語に対する意欲、基礎的な文法力。</p> <p>授業内容 与えられた課題について、毎回ライティングを行う。ペーパーは毎回提出、またはクラス内でお互いのペーパーをチェックする。ライティングでは時間制限の中英文をタイプしなければならないので、タイピング力強化も行う。更に、ライティングのみならず、必要なリスニングリーディングスピーキングなども取り入れる。</p> <p>実際の試験形式の問題も解いていくが、リスニングでは英語の表現や言い回しなど洋楽を取り入れていく。スピーキングは、実際の試験のように、スピーカーに向かって自分の英語を録音し、聞き取りやすさ、わかりやすさなどをクラス内で評価しあう。リーディングは英字新聞、雑誌など、幅広いジャンルの読み物を取り入れていく。</p> <p>成績評価の方法 出席、授業態度重視。毎回の簡単なテスト又は提出物と試験結果をあわせた総合評価をおこなう。</p> <p>教科書 随時プリント配布又はウェブ使用予定。</p> <p>参考書 随時紹介予定。</p> <p>注意事項 欠席3回で単位放棄とみなす。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	上 原 早 苗	火(5)	20	<p>本授業の目的およびねらい セミナー・テーマ「英語論文の書き方」 この授業では、英語論文を書くうえで必要と思われる技術の習得を目指す。</p>

授業科目	担当教員	曜日・ 時限	定員	授 業 内 容
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	上 原 早 苗	火(5)	20	<p>将来留学を考えている学生や、学位論文を英語で執筆する予定のある学生、あるいは英語の実力をつけたいと思っている意欲的な学生にとっては特に有意義な授業になるだろう。</p> <p>履修条件・関連する科目等 毎回出される課題を着実にこなせること。</p> <p>授業内容 まず最初に、英語に固有のパラグラフの構造および構成に慣れ親しみ、次いで英語論文の書き方の技術を学んでゆく。なお授業の具体的な展開は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. パラグラフ・ライティングの基礎 (1) 3. パラグラフ・ライティングの基礎 (2) 4. パラグラフ・ライティングの基礎 (3) 5. パラグラフ・ライティングの基礎 (4) 6. 英語論文の書き方 (1) イントロダクションをどう書くか 7. 英語論文の書き方 (2) 先行研究をどう提示するか 8. 英語論文の書き方 (3) 文体をどう整えるか 9. 英語論文の書き方 (4) 結果をどう提示するか 10. 英語論文の書き方 (5) 結論をどう書くか 11. まとめ <p>授業の進め方としては講義だけでなく、受講者の発表・レポート作成によって、より大きな成果をあげていきたい。</p> <p>成績評価の方法 授業中の発表内容、ディスカッションへの参加、課題、学期末レポート。これらを総合的に評価する。</p> <p>教科書 プリント使用</p> <p>参考書 英英辞典 (OALDが望ましい)</p> <p>注意事項 実力をつけたいと思っている学生のためのクラス。</p>
英 語 表 現 セ ミ ナ ー	外 池 俊 幸	木(3)	20	<p>本授業の目的およびねらい 英語で書かれた論説文をいくつか読み、それらをうまくいかして、言い換えると、まねて英語で文章を書くことを学びます。英語の文章を読む場合、今までは、文章の内容を理解するのがほとんど唯一の目的だったと思います。しかし、自分が英語を書く場合に使えないかという観点を持って英語の文章を読むことが重要で、それを具体的に行います。</p> <p>履修条件・関連する科目等 少人数の作文のクラスです。ただ出席していたら単位が取れるわけではありません。積極的な取り組みを要求します。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 英語で何かを論じている文章が、どういう構造を持っているか、議論がどう展開されているかを、具体的な記事を読みながら学ぶ。 2. また、文章を繋ぐ表現、何かを論じる時によく使われる表現などを具体例から集める。 3 自分で何も参照しないで、一から英語の文章を書くことはこの授業では行わない。 4 いくつか読んだものを参照しながら、いい意味でまねをしながら、英語の文章を書いてみる。 5 英語に限らないことですが、手直しをすることが非常に重要です。受講している人の書いたものをみんなで、こうした方がよくなるんじゃないか、こういうふうな表現をした方が、言いたいことが適切に表現できるのではないかなど、話し合います。 6 英語は、他の言語と違って、学習者向けの英英辞典でいいのがいくつも出ています。その中で、コリンズ英英辞典 (改訂第4版) を使うことにします。英語を書く上でも、話す場合にも、役に立つ情報が満載なので、それを今後も自分で活用していけるようにしたいと思います。 <p>成績評価の方法 出席重。期末 (100点)、課題 (20-50点)、各60%以上。</p> <p>参考書 Michael Swan (2005) Practical English Usage. Oxford University Press</p> <p>注意事項 コウビルド英英辞典 (改訂第4版CD-ROM付き: 付いてないものもあるのづ注意!) を購入し、毎回授業の時に持ってきて下さい。Advanced Learner's版です。違うのがあるので注意。この英英辞典の購入に数千円の出費が必要になります。</p>